

さっきあんなにシタのに  
まだやり足りないの？  
コイツ…また変な事  
言い出して…

教師姿の猥下！  
なんと麗しい！

ですが、エッチな  
匂いがプンプン  
しますぞ！

おっ

おっ

スル〜

ニミから  
ですかな〜  
それとも…

おっ

おっ

おお〜この哀れな  
チニアルキンめに女の体を  
教えて下さるん？

おっ

ホグッ、  
ホグホグ〜

おっ

是非お願いします！  
猥下〜いえ…

先生え〜



おや？先生え〜

チュメルキンチュメルキン...

もしかして...ここが先生の〜？

もう〜猥下も愉しんで下さない〜

だってこれは猥下からの...

ホグホグ〜さすが先生え〜

ちよつと！チュメルキン！

ドロ〜

それではあ〜

こっぴうのはどうですか？先生え？

先生え？

よ...良く分かってるわね！

上手よ！チュメルキン...

わ、分かってるわよ〜

チュメルキン

チュメルキン

ドロ〜

おっほっほっほっほ  
合格ね...

次はどうすれば  
もつと女の子が  
気持ち良くなるか  
先生の口で  
お勉強よ!

このチュテルキン  
予習の成果を

ゴッゴッ

アッアッ

おお、先生の  
お尻の穴のOとJが

しっかりお見せ  
しますぞ

ゴッゴッ

如何ですかかな?  
先生

じゅわん

こ、こんなの...  
不合格だわ...

これは補習ものよ!  
チュテルキン♥

一体、いつまで  
続けなきゃ  
ならないのよ

あんっ

ひゃあんー!

ホグホグうゝ先生…  
ちゃんと気持ちよく  
できてますかな?

きゅん♡

ええ!  
やればデキるじゃない!  
チュニテルキン!

それに…  
なんでゴイツ…  
こんなに…





なんで...??

何で...

1150...

こんな...  
上手いのか...

チュメルキン  
あなた、何回  
出せば気が...

んあー!

このチュメルキン、  
どれだけこの日を  
待ち望んでいたと...??

そっ、そんなの...

この想いを  
全て猯下に  
ぶつけるのに...



まだまだ  
こんなんじゃ全然  
足りませんぞ...

んあー!

猯下ゝ夜はまだ  
長いですぞ...